

アンデスの風

ボゴタ日本人学校だよりNo. 341
(平成29年度 第1号)

平成29(2017)年5月10日



ASOCIACION CULTURAL JAPONESA

Cra.8H No. 170-35 BOGOTA COLOMBIA

Tel+571-670-5130 Fax+571-672-7509

E-mail : bogota01@bogotaacj.com

URL : <http://www.bogota.acj.com>

校長 平野 恵彦 2017.5.10

第41回入学式が4月12日(火)、多くのご来賓をお迎えし盛大に挙げてきたことは大きな喜びです。50周年に向けたたしかな第一歩が標せたと感じております。

学校体制は派遣教員が1名増置され教員数が8名となりました。このことにより国語科、社会科、算数・数学科、理科、英語科は各学年別に授業を行なうことが出来るようになりました。このことにより一層個別の学習指導が充実することにつながります。子ども達の個々の資質や能力に応じたこまやかな指導をよりていねいに行なっていきます。



日課表も各学年毎の掲示へ①

新教頭(山田 豊)が着任

し学校が組織的に起動しました。さらに情報発信やPTA事務局としての機能も強化でき保護者の皆様の信頼に一層応えることができるもの考えています。「社会が好きになったよ」の子どもの一言に山田教頭はボゴタ日本人学校にすっかり溶け込んでいます。



山田新教頭の社会科授業風景②

新しい理科の先生(菊地 宏哉)は、長身188cmです。子ども達との理科の実験をどうしようかと日々悩んでいます。

好天のある日の理科の授業では子ども達とタンポポの観察をしていました。

理科学的な視点を的確に示しているので子ども達の表情も実に自信に満ちたものです。各教科の教育内容のさらなる充実を進めていきます。

新一年生担任(松島 敏實)は

対馬から赴任した身体の高い先生です。身体の高くない1年生の教室ではとっても大きな存在感があります。子ども達は安心して授業に励んでいます。今年は関西弁に加え、長崎弁、山形弁、静岡弁…と益々全国的になりました。職員室がとても豊かな雰囲気となりました。



タンポポのスケッチ(理科の授業)③

教職員数が充実するなど50周年に向けた「はじめの一歩」がすばらしいものとなりました。

これからも私たちは19名の子ども達の学力の保障に全力をつくしていく覚悟です。授業における子ども達の表情はいろいろなものです。時には悔しくて涙することも大切でしょう。ですが「わかる喜び」を味わえてこそ学校であると考えています。ですから「真剣な表情」、「わかった笑顔」を平成29年度も大切にしたいと思えます



新一年生の教室風景④

教室の黒板は一生懸命の授業で「ツルツルの黒板」(約30年使用)でした。本年度は真新しいホワイトボードが設置されました。新年度に間に合うようにと理事会が子ども達のためにと急いで設置(写真①)していただいたものです。本当にありがたいことです。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。